令和6年版

消防年報





人吉下球磨消防組合

は し がき

この年報は、人吉下球磨消防組合の令和5年度中における消防業務に関する諸般の状況を収録し、将来の消防行政運営に広く活用していただくための資料として編集したものです。

なお、内容については、令和6年4月1日をもって収録してあり、 一部これらによらないものについては、当該各表に年月日を記載しています。

令和6年8月

人吉下球磨消防組合消防本部

◆ 目 次

◆ 一目統計

	沅	0七		TO:	
\mathbf{O}	泪	D	U	現	沉

♦	管内の概要、管内面積・人口及び世帯数 ・・・・・・・・ 1	
♦	消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地 ・・・・・・・ 2	
♦	構成市町村の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	
♦	令和5年度の主要行事 · · · · · · · · · · · · · · · 5	
♦	消防の沿革 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6	
♦	消防組合の組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 11	
♦	消防本部及び署の組織 ・・・・・・・・・・・・・ 12	
♦	消防本部及び消防署の事務分掌・・・・・・・・・・・ 13	
♦	職員の配置状況と階級別現員 ・・・・・・・・・・・ 17	
♦	勤続年数別職員数 ・・・・・・・・・・・・・・・ 18	
♦	年齢別職員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 19	
♦	消防予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20	
♦	職員の教育実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 21	
♦	職員の特殊技能・資格取得状況 ・・・・・・・・・・・ 22	
)	消防活動	
♦	消防用車両配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 23	
♦	消防用特殊資機材保有状況 ・・・・・・・・・・・・・ 24	
♦	消防水利 •••••••••• 26	
♦	救助業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27	
♦	火災統計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29	
♦	救急統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32	
♦	通信関係 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37	

〇 予防業務

♦	防火対象物現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
♦	管内中高層建築物現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
♦	消防法令に基づく各種届出、防火管理者講習会実施状況・・・・・・・	44
♦	建築物の同意件数、危険物施設・規制事務状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
)	消防団 幼少年消防クラブ	
*	消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数 ••••	46
♦	幼年消防クラブの現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
♦	保育園防火クラブ・少年消防クラブの現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
♦	全国統一防火標語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49

一目統計

自然環境

人口・世帯



管内面積 971.82km^2



年平均気温 16.7 ℃ 年間降水量 2057mm



人口 50, 249人



世帯数 23,555世帯

消防予算

構成・人事



消防予算

13億7,248万円



所 消防本部 1 1 分署 4



職員数 定数 111人 実数 108人



消防団員数 定数1,844人 実数1,283人

機械•施設



消防車等 タンク車 7台



特殊車両等

はしご車 1台 救助工作車 1台 重機 1台 重機搬送車 1台



救急車等

高規格救急車 7台

その他車両 17台



消防水利

消火栓(基準) 574基 643基 消火栓(基準外) 防火水槽 902基

災 火 救 急 救 助

(令和5年統計)



火災件数 19件

死 者 1人 負傷者 1人 損害額23,800千円



救急出動

出動件数3,115件 搬送人員2,919人



救助出動

出動件数 37件 活動件数 23件



その他出動

出動件数 230件 搜索 5件

予 防



防火対象物数 2,606件



危険物施設数

製造所 1件 貯蔵所 108件 取扱所 86件



防火対象物定期点検 報告制度

特例認定事業所 2件 定期点検報告事業所61件



防火クラブ

幼年消防 23団体 少年消防 1団体

消防の現況

◆ 管内の概要

人吉下球磨消防本部は、熊本県南部にある人吉市の、東経 130 度 44 分9秒、北緯32 度 13分0秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成しています。

地理的空間は、南九州の三県庁所在地(鹿児島市・宮崎市・熊本市)のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つ清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、延長 100 キロメートルの流域を経て八代湾に注いでいます。

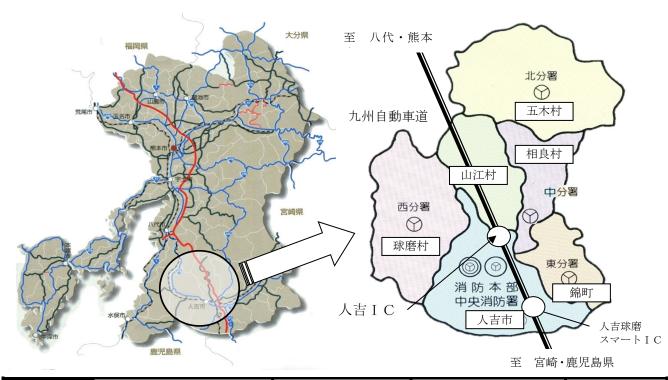
当消防組合管内は、南北に貫く九州 自動車道があり、八代 I Cと人吉 I C の区間は1989年に開通し、I C区 間で日本一長く、九州で最長のトンネ ル「肥後トンネル」と熊本、宮崎を跨 ぐ「加久藤トンネル」を含んだ「えび の〜八代間」を上下線方式により管轄 しています。また、令和元年8月にす 人吉 I Cとえびの I Cの間に「人吉球 磨スマートインターチェンジ」が開通 しました。



◆ 管内面積・人口及び世帯数

	面積(k㎡)	人口(人)	世帯数 (戸)
人吉市	210.55	29,284	15,131
绵町	85.04	10,112	3,977
相良村	94.54	3,996	1,578
五木村	252.92	935	462
山江村	121.19	3,187	1,193
球磨村	207.58	2,735	1,214
計	971.82	50,249	23,555

◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地



			所 在 地	庁舎の構造 及び建築年	延床面	i積	敷地面積
消 防 本 部中央消防署			〒868-0083 熊本県人吉市下林町 1番地	鉄骨・ 鉄筋コンクリート 3階 (平成元年)	2,908㎡ (1F) (2F) (副塔 3F) (主塔 6F) その他	1,260 1,226 36 189 197	7,240 m²
東	分	ONE ONE	〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 一武 1587 番地 17	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	23	1,062 m²	
西	分	署	〒869-6403 熊本県球磨郡球磨村 一勝地甲 77 番地 3	鉄筋コンクリート 2階 (令和5年)	29	99.49 m²	984.12 m²
北	分	明	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672 番地 80	鉄骨防火 サイディング張 平屋建 (平成 22 年)	27	70.25 m²	1,853.53 m ²
ф	分	署	〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 深水 2493 番地 1	鉄筋コンクリート 平屋建 (平成元年)	21	0,00 m ²	1,154 m²

◆ 構成市町村の概況

ひとよしし **人吉市**



〒868-8601 熊本県人吉市 西間下町字永溝 7番地1

Tel 0966 (22) 2111 にしきまち **給** 田



〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 大字一武 1587 番地

Tel 0966 (38) 1111



青井阿蘇神社と球磨川くだり



球磨川沿いのツクシイバラ

人吉市は熊本県の最南部に位置しており、日本三大急流の一つである「球磨川」が東から西へ貫流しており、南は鹿児島、宮崎の両県に接しています。

九州の小京都と呼ばれ、平成2 〇年に熊本県内で初めて国宝に 指定された「青井阿蘇神社」、球 磨川の清流を楽しめる「球磨川く だり」、疲れた体を癒してくれる 「人吉温泉」、各種銘柄が楽しめ る「球磨焼酎」等、観光地として 古くから親しまれています。また 近年では、球磨川でのラフティン グが大きな人気を集めています。

錦町は熊本県の南部に位置しており、町内の中心部を国道219号が東西に横断し、国道と並行して北寄りに約2km隔てて日本三大急流のひとつである"球磨川"が西流しています。初夏になると、球磨川河川敷には町花である『ツクシイバラ』が咲き乱れます

本町の基幹産業は農業であり、 南部の山麓地帯は『梨・桃』、北 部の丘陵地帯は『茶』の産地となっており、中央部では球磨川が育 んだ肥沃な大地からとれる良質 な米が生産されています。

^{さがらむら} 相良村



〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 大字深水 2500 番地 1

Tel _0966 (35) 0211



清流川辺川と雨宮の森

相良村は、球磨郡のほぼ中央に 位置し、清流「川辺川」が北から 南へ貫流する、豊かな自然と古の 先人が残してくれた歴史と伝統 が息づく山紫水明の農山村です。

県内一の生産量を誇る「茶」等、 農林業が主産業であり、「水と緑 を活かした潤いある村づくり」に 取り組んでいます。

また、緑に包まれ澄んだ流れの 川辺川をはじめ、四季折々の豊か な相良村の表情を1年中楽しむ ことが出来ます。

いつきむら

五木村



〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672 番地 7

Tel 0966 (37) 2211

やまえむら **山江村**



〒868-8502 熊本県球磨郡山江村 大字山田甲 1356 番地 1

Tel 0966 (23) 3111

くまむら 球**磨村**



〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村 大字渡丙 1730 番地

Tel 0966 (32) 1111



カヤックとバンジージャンプ



山江村特産品の栗とボンネットバスマロン号

五木村は、熊本県の南部に位置し、村のほぼ中央を水質日本一の清流「川辺川」が貫流し、四季折々の自然を感じられる村です。

近年は観光拠点も整備され、九州で唯一のブリッジバンジー、地域資源を活かしたカヤック・サップ、ツリークライミング、サイクリング等が楽しめる「アウトドアフロンティア」としても注目されています。

また、幻の柑橘「くねぶ」や6片にんにくを使用した製品・加工品も多くの方々より好評をいただいております

のどかな田園風景と緑豊かな山々 に囲まれた自然あふれる農山村で す。

農地を潤す豊かな山田川と美しく 澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な 土地柄で大変おいしい米、野菜、果 樹等が育ちます。

特に、万江川はヤマメや鮎などが 生息する九州でも有数な清流である とともに、盆地特有の気候を利用し て良質な栗の栽培に力を入れてお り、トップブランド化を図っていま す。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財「山田大王神社」や産業考古学推薦産業遺産「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれています。

美しい村を取り戻す

現在、令和2年7月豪雨被害から の復旧・復興に多くの方のご支援も いただきながら全力で取り組んでい ます。

本村は美しい自然の宝庫であり、 日本三大急流のひとつである清流 「球磨川」が東西に流れていて、鮎 釣りやラフティングが楽しめます。

また、棚田百選の「松谷棚田」と 「鬼ノロ棚田」の風景は昔懐かしい 風情があります。

そして、九州最大の鍾乳洞「球泉洞」は、3億年もの年月をかけて自然がつくり出した芸術作品で、恋愛や縁結びのパワースポット「恋人の聖地」となっています。

◆ 令和5年度の主要行事

_	
4月	初任科第68期入校式 令和5年度熊本県消防長会春季総会
4/3	第46回熊本県消防職員意見発表会(阿蘇市) 全国消防長会九州支部総会(八代市)
	拠点分散訓練 議会全員協議会
5月	警防本部運営訓練
	第49回熊本県消防救助技術大会 第75回全国消防長会総会(京都市)
6月	水難救助訓練及びラフトボート等操舵訓練 人吉下球磨幼少年防火委員会総会
	業務用 IP 無線による豪雨災害対応訓練
7月	業務用 IP 無線による豪雨災害対応訓練 城南ブロック消防本部協議会総務課長会(当消防本部)
	水難救助訓練及びラフトボート等操舵訓練
8月	防災消防航空隊·人吉下球磨消防組合合同訓練 第51回全国消防救助技術大会(札幌市)
	おり「回主国内的教助技術人会(心味で)
9月	八代消防・上球磨消防・人吉下球磨消防合同重機操作訓練
	初任科第68期卒業式
	人吉下球磨消防連絡協議会秋季会議 熊本県消防長会秋季総会(人吉市)
10月	城南ブロック消防本部水難救助合同訓練(当消防本部)
	防火管理者新規講習会
	秋季全国火災予防運動 久七トンネル総合防災訓練
11月	久ら下ラネル福台的及訓練 全国消防長会九州支部消防長研修会(鹿児島市)
	議会全員協議会
	城南ブロック消防本部協議会消防隊合同訓練(水俣芦北消防本部開催)
12月	年末警戒
	消防団出初式 交通救助研修会
1月	実必数的所得益 実火災体験型訓練施設(HT)特別研修(熊本県消防学校)
	熊本県下消防本部ドローン研修会
	消防活動用重機研修会
2月	人吉下球磨消防連絡協議会春季会議 感染症患者搬送訓練
	議会全員協議会
	模擬消火訓練装置(AFT)特別研修(熊本県消防学校) 春季火災予防運動
3月	九州自動車道人吉八代間トンネル非常用設備研修
	城南ブロック協議会特別研修(上球磨消防本部)
	消防相互応援協定に基づく合同訓練(えびの市)

◆ 消防の沿革

◇ 消防組合前の沿革

昭和22年 12月 消防組織法制定公布 昭和23年 4月 人吉市役所総務課内に消防係を新設(職員数1名) 水槽付消防ポンプ車購入、職員新規採用1名(職員数2名) 常備消防発足、職員新規採用6名(職員数8名) 昭和24年 1月 消防ポンプ車購入(2号車)、職員新規採用8名(職員数16名) 昭和26年 人吉市消防本部設置、初代消防長 豊永芳太郎 就任(市助役兼務) 昭和27年 7月 6月 消防ポンプ車購入(3号車) 昭和28年 職員新規採用2名(職員数18名) 昭和30年 4月 9月 第2代消防長 内藤四郎 就任(市助役兼務) 職員新規採用3名(職員数21名) 昭和33年 12月 昭和34年 9月 人吉市消防署設置 12月 職員新規採用6名(職員数27名) 昭和35年 6月 職員新規採用4名(職員数31名) 9月 小型動力ポンプ購入 昭和36年 10月 条例改正により定員38名となる 12月 第3代消防長 久保田槻生 就任(専任消防長)、司令車購入 昭和37年 1月 消防庁舎新築落成(人吉市新町16番地) 3月 消防無線設置(基地局1・移動局1) 昭和39年 1月 職員欠員補充2名 3月 消防ポンプ車(ニッサン)日本損害保険協会から寄贈 4月 職員新規採用1名(職員数32名) 7月 職員新規採用1名(職員数33名) 昭和40年 9月┃救急車(B級)人吉ライオンズクラブから寄贈 昭和42年 12月 職員新規採用5名(職員数38名)、消防ポンプ車更新 昭和43年 4月 職員欠員補充1名 昭和44年 9月 第4代消防長 鳥飼雄吉 就任(市助役兼務) 昭和45年 1月 職員欠員補充2名 4月 職員欠員補充2名 11月 水槽付消防ポンプ車(1号車) 更新 昭和46年 4月 救急車(A級)日本損害保険協会から寄贈 職員新規採用3名(職員数41名) 消防無線狭帯化に伴い無線機を更新 11月 昭和47年 1月 職員新規採用1名(職員数42名) 消防ポンプ車(3号車)更新 9月 昭和48年 5月 職員欠員補充1名 救急車(ニッサン)購入 10月

◇ 消防組合の沿革

<u> </u>		ロツル半
昭和49年	4月	人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署発足(人吉市から職員42名、消防車5台、救急車2台)
		初代消防長 上原 茂 就任
		職員新規採用12名(職員数54名)
	7月	職員新規採用12名(職員数66名)
		中央消防署西分署(球磨村)仮庁舎にて業務開始、消防車(球磨村から譲渡)1台・西分署職員数7名
		司令車(三菱コルト)一部負担、県消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	中央消防署東分署(錦町)仮庁舎にて業務開始、消防車(錦町から譲渡)1台・東分署職員数7名
		中央消防署北分署(五木村)仮庁舎にて業務開始、積載車(五木村から譲渡)1台・北分署職員数7名
	. —, •	救急車(ニッサンキャラバン2B)日本自動車工業会から寄贈、北分署に配備・救急業務開始
昭和50年	1月	東分署・西分署新庁舎落成、新庁舎にて業務開始
		救急車(ニッサンキャラバン2B)購入、西分署に配備・救急業務開始
	3月	救急車(ニッサンキャラバン2B)日本損害保険協会から寄贈、東分署に配備・救急業務開始
	4月	職員新規採用13名(職員数79名)
	12月	広報車(ニッサングロリア)購入、中央消防署に配備
		梯子付消防ポンプ車(モリタ24紅級)購入、中央消防署に配備
昭和51年		水槽付ポンプ車(モリタ・三菱、水槽1.5 t)2台購入、東分署及び西分署に配備
		消防ボンプ車(日機・トヨタ)日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和52年		第2代消防長 竹本 望 就任
		救急車(ニッサンキャラバン2B)日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
		広報車(ニッサンブルーバードGL1,600cc)2台購入、東分署及び西分署に配備
l		消防ボンフ車(モリタ・三菱、水槽1.5 t)購入、北分署に配備
昭和52年	11月	北分署積載車を資機材搬送車に改造し、中央消防署に配備

```
昭和53年 7月【消防ポンプ車(ニッサン)1台購入、中央消防署に配備
     10月 広報車(ニッサンブルーバードGL1,600cc)北分署に配備
昭和54年 12月 査察広報車(トヨタマークⅡGL 1,800cc)消防本部に配備
昭和55年 3月 救急車(ハイエース2B) 県農協共済連から寄贈
     12月 救助工作車(日機)1台購入、中央消防署に配備
昭和56年 4月 職員1名採用
     11月 広報車(トヨタマークⅡ乗用車)購入、消防本部に配備
        防火広報車(トヨタ9人乗り) (財)日本防火協会から寄贈
昭和57年 3月 消防本部の組織に関する規則改正、予防係を予防課に昇格
      4月 消防組合消防職員定数条例改正、職員定数85人とする
      6月】消防職員欠員補充1名、新規採用6名 (職員数85名)
      9月 救急車 (ニッサン2,000cc) 日本消防協会から1台寄贈 北分署に配備
     11月┃水槽付ポンプ車(ドライケミカル・日野、水槽2 t )中央消防署に配備
昭和58年 11月 人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会設立 (15団体、1,250人)
昭和59年
     3月 救急車(トヨタ2B)西分署に配備
      9月 第3代消防長 山本澄雄 就任
昭和60年
      3月 救急車(トヨタ2B) 東分署に配備
      4月 救急車 (トヨタ2B) 県農協共済連から寄贈
      6月 人員搬送車(ニッサンマイクロバス3,300cc)サンロードから寄贈、中央消防署に配備
      9月 第4代消防長 岩本康資 就任
     11月 消防ポンプ車(日本ドライケミカル・三菱)中央消防署に配備
        人吉下球磨幼年消防大会開催(18団体 1,398人)
     4月 職員欠員補充2名
昭和61年
昭和62年
      1月 指揮車(ハイエースバン2,400cc) 中央消防署に配備
     8月 救急車(トヨタ2B)日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和62年
昭和63年
     4月 職員欠員補充2名
平成元年
      4月 職員欠員補充1名
        消防庁舎新築移転(人吉市下林町1番地)業務開始
        組織機構改正(3課1室)
        相良分遣所開設(分遣所職員数8名体制)
        消防緊急情報システム(Ⅱ型)導入
     10月 消防組合消防職員定数条例改正、職員定数91名
        職員新規採用6名(職員数91名)
     12月
        九州縱貫高速自動車道開通 救急業務開始
平成2年
      4月 救急車(トヨタ2B) 侑岩下産業から寄贈 中央消防署に配備
        職員欠員補充1名
     11月 第1回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催(毎年開催)
     12月 事務連絡車(ニッサングロリア1,990cc)購入、消防本部に配備
平成3年
      1月 査察車(トヨタカローラ1,290cc) 購入、消防本部に配備
      3月 救急車(ニッサン2B)安田生命から寄贈、相良分遣所に配備
      4月 水槽付ポンプ車(A-Ⅱ型・日本ドライケミカル三菱) 東分署に配備
        職員欠員補充1名
      8月┃水槽付ポンプ車(吉谷機械製作所・いすゞ1.5 t )日本損害保険協会から寄贈
        寄贈車両 西分署に配備
     10月 広報車(ニッサンアベニール1,590cc)購入、東分署に配備
平成4年
     11月 職員欠員補充1名
     12月【広報車(ニッサンADワゴン 1,500cc)購入、西分署に配備
平成5年
      2月 消防ポンプ車(A-Ⅱ型・いすゞ 3,600cc) 北分署に配備
      3月 週40時間制勤務試行(隔日勤務者、8週16休)
      7月 完全週休2日制へ移行
      3月 高規格救急車(トヨタハイメディック4,000cc)中央消防署に配備
平成6年
      6月 救急指導車(トヨタ4,000cc)岩下産業から寄贈、中央消防署に配備
     10月 消防組合発足20周年記念式典
平成7年
      1月 第5代消防長 高橋昭三 就任
      2月 定数条例改正(91名を103名へ)
      3月 2部制勤務より3部制勤務へ移行
        水槽付ポンプ車(A-Ⅱ型・日本ドライケミカル日野1.5 t)相良分遣所へ配備
      4月 組織機構改正(消防本部警防課を廃止し企画情報課に、中央消防署に消防課設置)
      5月 職員新規採用3名(職員数94名)
        職員欠員補充1名
        中央署予備ポンプ車廃車、管内保育園へ寄贈
      7月 加久藤トンネル防災訓練・九州自動車道人吉~えびの間供用開始
        救急車(ニッサン 3,000cc) JA共済連から寄贈、東分署に配備
        東分署仮眠室全面改装(ベッド設置)
```

	\cap	\$4.6 [
		第1回「救急フェア '95」開催(毎年開催)
	12月	欠員補充1名(職員数94名)
		事務連絡車(フォード1,800cc)㈱M i s u m i から寄贈、消防本部に配備
平成8年		資機材搬送車(いすゞ 2 t ロング 4,300cc)中央消防署に配備
	3月	第1回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ'96」開催(平成19年第12回まで実施)
	4月	【職員新規採用3名(職員数97名)
		職員欠員補充3名
	5月	司令車更新(トヨタ 2,000cc)中央消防署に配備
		西分署事務室及び仮眠室全面改装(ベッド設置)
平成9年		職員欠員補充2名(職員数97名)
十八八十		水泉大泉間だと日 (城泉数37日) 化学消防車購入 (三菱 8,200cc A-Ⅱ型 日本造機) 中央消防署に配備
	SH	北分署救急車更新(トヨタ 3,000cc 2B)
		高規格救急車(トヨタハイメディック)(社)日本損害保険協会から寄贈
		更新による救急車2台廃車、管内医師会へ寄贈
		高規格救急車(トヨタハイメディック)東分署に配備
		北分署庁舎新築移転(仮庁舎)
	4月	職員新規採用3名(職員数99名)
		熊本県消防学校派遣教官出向1名
		東京消防庁杉並消防署と友好協力関係確認書の取り交し
	7月	消防活動二輪車隊「レッドアタッカー」発足 (ホンダ車5台)、中央消防署に配備
	. , ,	職員欠員補充1名(職員数100名)
平成1○年	4日	職員新規採用3名(職員数103名)
1 /2/10-	1/3	職員欠員補充1名
		熊本県消防学校派遣教官出向1名
東は11年	28	
平成114		梯子付消防自動車(モリタ30流級)購入、中央消防署に配備
	4月	職員新規採用2名(職員数103名)
		熊本県消防学校派遣教官出向1名
		職員新規採用1名(職員数103名)
		相良分遣所を中分署に昇格
		水槽車(三菱ザ・グレード 11,140cc)、中央消防署に配備
平成12年	1月	職員新規採用1名(職員数103名)
	4月	職員新規採用2名
		熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	高規格救急車(ニッサンパラメディック)中分署に配備
		水槽付ポンプ車(三菱ファイター 8,200cc)北分署に配備
平成13年		職員新規採用3名(職員数103名)
1 /24 : 0 1	.,,	熊本県消防学校教官出向1名
	98	熊本県知事救急功労賞表彰授与
	0/3	救助工作車(日野レンジャー 8,000cc)中央消防署に配備
	11日	消防緊急指令装置(Ⅱ型)更新
	IIA	内的系 10 10 10 10 10 10 10 1
亚共 4年	4 🗆	
平成14年		熊本県消防学校教官出向1名
		第5回熊本県下消防大規模災害対応訓練(人吉市)
平成15年	4月	職員新規採用1名(職員数103名)
	~ -	熊本県消防学校教官出向1名
		職員欠員補充1名(職員数103名)
		高規格救急車(トヨタハイメディック 3,400cc)西分署に配備
		職員欠員補充1名(職員数102名)
平成16年	3月	消防組合発足30周年記念式典
	4月	定数条例改正 105名
	5月	職員新規採用2名(職員数103名)
平成17年		第6代消防長 高澤敏雄 就任
	.,,	職員新規採用3名(職員数104名)
	4日	定数条例改正 111名
	-1/3	職員新規採用2名(職員数106名)
		熊本県防災消防航空隊出向1名
平成18年	⊿ □	熊本宗的父母的前至隊山间1名 職員新規採用3名(職員数108名)
平成19年		防災研修車(ニッサンキャラバン 3,000cc)藤田株式会社から寄贈、消防本部に配備
	4月	第7代消防長 竹田文郎 就任
		職員新規採用4名(職員数111名)
		全国消防長会総務委員会(人吉市)
平成20年	4月	第8代消防長 中村俊博 就任
		定数条例改正 105名 (A)
		職員新規採用2名(職員数105名)

熊本県消防学校派遣教官出向1名 6月 事務連絡2号車(スバルプレオ 650cc)退職者から寄贈、消防本部に配備 9月 人吉下球磨幼年消防クラブ発足25周年式典 3月 広報車 (ニッサンティーダ 1,500cc) 消防本部に配備 平成21年 4月 第9代消防長 原一幸 就任 職員新規採用3名(職員数105名) 7月┃職員欠員補充1名(職員数105名) 平成22年 2月 中央消防署北分署新庁舎落成式 4月 第10代消防長 犬童利夫 就任 職員新規採用5名(職員数105名) 3月 東日本大震災緊急消防援助隊現地派遣1,2次隊 10名(宮城県仙台市若林区、宮城野区) 平成23年 高規格救急車(トヨタハイメディック 2,700cc 2台)東分署及び北分署に配備 4月 第11代消防長 槻木孝至 就任 職員新規採用9名(職員数105名) 熊本県防災消防航空隊出向1名 6月 予防査察車(ニッサンティーダ 1,500cc)消防本部に配備 10月 熊本県消防長会秋季総会(人吉市) 平成24年 4月 第12代消防長 中村憲和 就任 職員新規採用3名(職員数105名) 平成25年 2月 資機材搬送車(三菱キャンター 3,000cc)総務省消防庁より無償使用制度を活用し配備 消防救急デジタル無線(共通波)開局式 4月 第13代消防長 冨田清一 就任 定数条例改正 109名 職員新規採用10名(職員数107名) 平成26年 高規格救急車(トヨタハイメディック 2,700cc)中央消防署に配備 職員新規採用4名(職員数107名) 熊本県消防学校教官出向1名 5月 人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典 事務連絡車(スバルインプレッサ 2,000cc)消防本部に配備 平成27年 3月 タンク車(日野レンジャー 6,400cc)中央消防署に配備 消防救急デジタル無線(活動波)開局式 4月 第14代消防長 中山哲臣 就任 消防救急デジタル無線(活動波)運用開始 定数条例改正 110名 職員新規採用9名(職員数109名) 平成28年 4月 職員新規採用3名(職員数105名) 熊本県防災消防航空隊出向1名 平成28年熊本地震熊本県消防応援協定に基づく消防隊現地派遣 1,2次隊(14名) 11 救急隊応援出動 1,2次隊(6名)南阿蘇村 9月 熊本県救急医療功労者知事表彰(北分署救急隊) 12月 高規格救急車(トヨタハイメディック 2,700cc)中分署に配備 平成29年 1月 東分署にタンク車(日野デュトロ 4,000cc)配備 4月 職員新規採用5名 7月 九州北部豪雨発生 緊急消防援助隊として第1次隊から第7次隊まで派遣 9月 熊本県救急医療功労者知事表彰(中分署救急隊) 10月 第66回全国消防長会危険物委員会(人吉市) 平成30年 1月 タンク車(日野デュトロ 4,000cc CD-1)中分署に配備 タンク車(日野レンジャー 6,400cc 水1-B)中央消防署に配備 3月 災害救援車(ニッサンシビリアン)を岩下兄弟株式会社から寄贈、消防本部に配備 4月 第15代消防長 深江政友 就任 職員消防採用3名(職員数104名) 組織機構改正 予防課(指導係・予防係)を予防課(予防係・危険物係)へ改編 企画教養課、情報管理課を廃止し人事教養課(人事教養係、情報管理係)を新設 通信指令課、救急課を廃止し警防課(警防通信係、救急係)を新設 6月 職員新規採用4名(職員数108名) 高規格救急車(トヨタハイメディック 2,700cc)西分署に配備 10月 1月 特殊災害対応はしご付消防自動車(日野 30m級 8,900cc)中央消防署に配備 平成31年 4月 |職員新規採用6名(職員数109名) 熊本県消防学校教官出向1名 令和元年 5月 水難救助隊発隊 6月 指揮2号車(トヨタランドクルーザープラド)中央消防署に配備 第一回警防技術大会開催 12月 指揮1号車(トヨタハイエース)中央消防署に配備 令和2年 1月 Ĭ 消防活動用重機 (コベルコ SK55SR) 中央消防署に配備

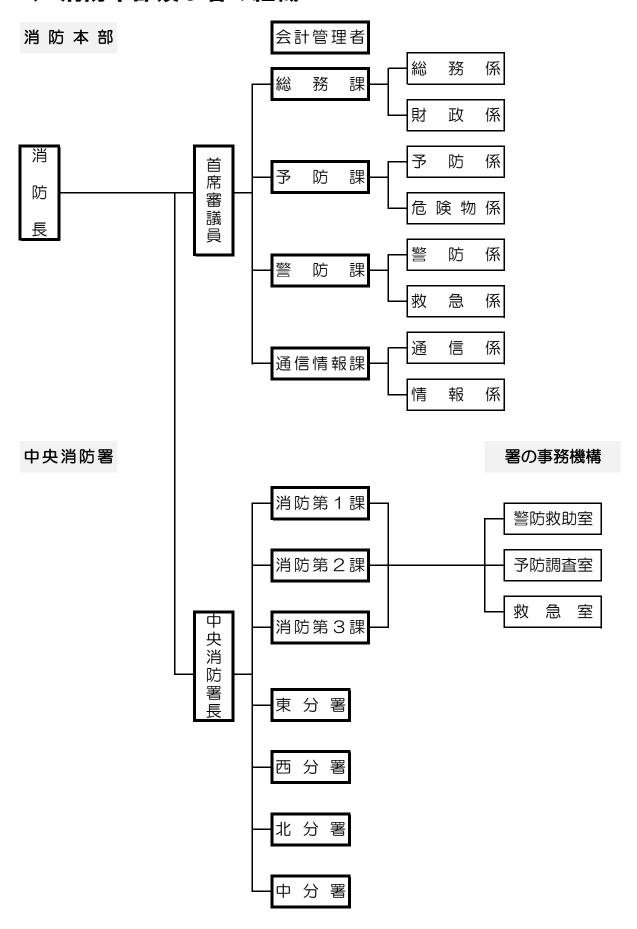
	0.0	THURST (1) + 1) FORMADD 7700) + 6)/III PICTIT
		重機搬送車(いすゞ FORWARD 7,790cc)中央消防署に配備 組織機構改正 通信情報課(通信係・情報係)を新設
	4万	脳神域機関は、 通信情報は、通信は、情報は一名利設 警防課(警防通信係を警防係へ)を改編
		職員新規採用1名(職員数109名)
	6月	職員新規採用1名(職員数110名)
		救助機動部隊発隊
	7月	令和2年7月豪雨 4日未明から昼前にかけて県南地域で激しい雨が降り河川が氾濫し
		中央消防署、西分署が浸水 消防車両等計12台を損失
		近隣消防相互応援協定に基づく応援要請(上球磨消防、西諸広域消防、伊佐湧水消防)
		緊急消防援助隊要請 (熊本市消防局、宮崎県大隊、佐賀県大隊、北九州市消防局、福岡県大隊、山口県大隊)
		(原本中海的局、 宮崎県大阪、 佐貞県大阪、 北方州市海の局、 福岡県大阪、 田口県大阪) 熊本県消防相互応援協定に基づき出動補完 県下10消防本部
	12日	予防査察車(ホンダエヌバン)消防本部に配備 ※水害補充
	12/5	事務連絡車1(ニッサンエクストレイル)消防本部に配備 ※ リ
		事務連絡車2(ニッサンノート)消防本部に配備 ※ 川
		事務連絡車3(トヨタシエンタ)消防本部に配備 ※ 〃
令和3年		司令車(トヨタエスクァイア)消防本部に配備 ※ リ
	3月	タンク車(日野デュトロ 4,000cc)北分署に配備 ※ ハ
	⊿ □	指揮2号車(トヨタランドクルーザープラド)中央消防署に配備 ※ 〃 第16代消防長 豊永浩 就任
	4月	第1017月10日 - 豊水店 別住 職員新規採用1名(職員数110名)
	5月	両見利兄孫用「石(職員数「「〇石) 高規格救急車(トヨタハイメディック 2,700cc)中分署に配備
		水難救助用ゴムボート3艇配備
	2,3	水上バイク(ヤマハ発動機 総トン数:0.2トン)中央消防署に配備
令和4年		高規格救急車(トヨタハイメディック 2,700cc)東分署に配備
	2月	タンク車(日野デュトロ 4,000cc)西分署に配備
	4 🗆	定数条例改正 111名
		職員新規採用2名(職員数110名) 人吉下球磨消防組合・上球磨消防組合消防指令業務の共同運用に関する協議確認書の締結
		人吉下球磨消防組合・上球磨消防組合消防広域化等に関する協議確認書の締結
	1 / 3	救助工作車(日野 5,120cc)中央消防署に配備
	4月	職員新規採用3名(職員数111名)
		西分署庁舎落成
令和6年	4月	第17代消防長 中村健吾 就任
		職員新規採用4名(職員数108名)

消防組合の組織

組合執行機関 組合議 会 監 査 委 員 議 管 理 者 長 知識経験者 代表副管理者 副 議 長 議会選出者 理 議 副 管 員 吉 人 市 長 人吉市 3人 錦 町 1人 管 理 者 (相 良 村 長 1人 錦 町 五木村 1人 (代表副管理者) 錦 ⊞ 長 相良村 1人 (副管理者) 五 木 村 長 五木村 1人 (副管理者) Ш 江 村 長 山江村 1人 (副管理者) 球 磨 村 長 球磨村 1人 (副管理者)

※建制順

◆ 消防本部及び署の組織



◆ 消防本部及び消防署の事務分掌

1 消防本部の事務分掌

		1	本部及び消防署の組織に関すること。
		2	公印に関すること。
		3	議会に関すること。
		4	文書の収発及び図書に関すること。
		5	職員の福利厚生、公務災害及び共済その他保健に関すること。
	紭	6	職員の研修、教養及び人材育成に関すること。
		7	条例、規則及び規程等の整備に関すること。
	務	8	消防職員委員会、第三者委員会及びコンプライアンス委員会に関すること。
	纷	9	情報公開等審査会及び情報公開等判定委員会に関すること。
	係	10	職員の相談窓口に関すること。
		11	公告式に関すること。
		12	陳情、請願及び投書の処理に関すること。
		13	消防長会及び消防協会に関すること。
		14	職員(退職者含む。)の表彰に関すること。
		15	式典及び儀礼等の企画に関すること。
		16	その他総務に関すること。
総		1	監査に関すること。
務			予算、決算に関すること。
=⊞		3	12,300,70 27, 370 110-31-123
課		4	
			財政状況の公表に関すること。
		6	
		7	
	財		組合経費に関すること。
		9	給与の計算及び支給に関すること。
	政		出納事務に関すること。
	係	11	消防賞じゅつに関すること。
		12	庁舎その他消防施設の維持管理及び更新に関すること。
		13	物品及び貸与品に関すること。
		14	寄附の採納に関すること。
		15	職員の定数、配置及び事務に関すること。
		16	職員の任免、分限、懲戒、服務、懲罰その他身分に関すること。
		17	職員の採用試験及び昇任試験に関すること。
		18	職員の人事評価及び人事記録に関すること。
		19	その他財政に関すること。

	ı	ı	
		1	建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。
		2	防火対象物の立入検査及び措置命令に関すること。
		3	防火対象物の防火管理の指導に関すること。
		4	防火管理者の講習及び教育指導に関すること。
	予	5	消防用設備等に関すること。
	防	6	住宅防火に関すること。
	,,,,	7	防火思想の普及指導及び広報に関すること。
	係	8	防火委員会に関すること。
		9	消防連絡協議会に関すること。
		10	防火対象物等の表彰に関すること。
予		11	その他予防係の分掌を適当とする事項
防		1	危険物の規制に関すること。
רא		2	危険物の許可、認可、承認及び指導に関すること。
課		3	危険物施設等の立入検査及び措置命令に関すること。
		4	消防法(昭和 23 年法律第 186 号)第 9 条の 3 に係る届出及び液化石油
	危		ガスの貯蔵取扱いに係る意見書に関すること。
	険		火薬類取締法 (昭和 25 年法律第 149 号) に基づく煙火の消費に係る事
	,,,	_	務に関すること。
	物	6	
	係		津第 149 号)に基づく液化石油ガス設備工事の届出及び立入検査に関する
		· ·	
		7	
			その他予防係の分掌を適当とする事項
		1	
		•	
		3	., ., .,
		4	
		5	職員の安全管理に関すること。
		6	職員の教育、研修及び訓練の計画に関すること。
		7	
警	警	8	
防	防	9	特殊災害の調査及び研究に関すること。
		10	当が東南の登録、更新及び検査に関すること。 当防車両の登録、更新及び検査に関すること。
課	係	111	各種災害情報等の収集及び伝達に関すること。
		12	
		13	
		10	
		1 1 1	国民保護に関すること
		14	
		15	

		1	救急業務の事務に関すること。
		•	
		2	救急隊の運用及び訓練計画に関すること。
		3	救急統計に関すること。
	救	4	医療関係機関との連絡調整に関すること。
防	急	5	メディカルコントロール協議会に関すること。
		6	救急隊員の教育研修及び訓練の計画に関すること。
課	係	7	職員の健康診断、抗体検査及びワクチン接種等に関すること。
		8	救急医療情報に関すること。
		9	その他救急業務に関すること。
		1	災害に係る通信及び指令に関すること。
		2	通信に係る関係機関との連絡及び調整に関すること。
	通	3	無線従事者及び通信に係る者の指導及び教育に関すること。
	信	4	各種災害の情報収集、伝達及び広報に関すること。
		5	火災警報の発令に関すること。
	係	6	気象情報、災害情報及び救急医療情報の連絡に関すること。
/宏		7	その他通信業務に関すること。
通信情報課		1	通信情報業務の企画立案に関すること。
情		2	通信設備の運用及び維持管理更新に関すること。
料課		3	通信指令に係る支援情報の管理に関すること。
UZK	情	4	消防緊急情報システムの運用及び管理に関すること。
	報	5	消防統計、消防年報及び広報(ホームページ含む)に関すること。
		6	災害に係る情報公開に関すること。
	係	7	個人情報保護に関すること。
		8	情報公開に関すること。
		9	その他情報管理業務に関すること。

2 消防署の事務分掌

		4	数がフィッチャー・サックの中央には日本ファレ
		1	警防及び救助業務の実施に関すること。
		2	消防相互応援協定に基づく出動に関すること。
		3	緊急消防援助隊の出動に関すること。
		4	救助技術訓練の指導及び大会運営に関すること。
警	警	5	防災警備に関すること。
防	防	6	消防職員、消防団員及び自主防災組織等の訓練指導に関すること。
救	救	7	中央署内の庶務に関すること。
		8	消防活動上の地理及び水利に関すること。
助	助	9	備品管理に係る事務に関すること。
室	係	10	消防機械器具の管理及び取扱いに関すること。
		11	消防車両の整備、改善及び使用に関すること。
		12	庁舎施設の維持管理に関すること。
		13	総務課総務係及び財政係の所管する事務の補助に関すること。
		14	その他警防及び救助業務の実施に関すること。
		1	防火対象物の立入検査に関すること。
		2	予防関係の届出等に関すること。
\neg	⊽	3	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱いに関すること。
予	予	4	自衛消防隊の指導及び育成に関すること。
防	防	5	火災予防に関すること。
調	調	6	防火対象物の避難管理に関すること。
查	查	7	火災の原因及び損害の調査に関すること。
室	係	8	火災報告及び火災統計に関すること。
_ 	ITN	9	り災証明に関すること。
		10	予防課予防係及び危険物係の所管する事務の補助に関すること。
		11	その他の予防及び火災調査業務に関すること。
		1	救急業務の実施に関すること。
		2	救急隊員の教育訓練に関すること。
救	救	3	救急隊員の安全管理に関すること。
		4	救急技術の調査及び研究に関すること。
急	急	5	救急報告及び救急統計に関すること。
室	係	6	応急手当の普及に関すること。
		7	救急資機材の維持管理に関すること。
		8	その他救急業務の実施に関すること。

◆ 職員の配置状況と階級別現員

		総	計	消防	5士	消副出	防 L長	消士	防 長	消司令	防含補	消司	防 令	消司令	防令長	消	方監
	総計	10	08	17		26		22		19		19		4	(4)	1	
	計	28	(4)	4		3		5		7		5		3	(4)	1	
	消防長	1														1	
	消防次長																
	危機管理監																
当	首席審議員	3												3			
消防本部	会計管理者	1										1					
部	総務課	6	(1)			2		2		1		1			(1)		
	含総務課付	5		4				1									
	予防課	4	(1)			1		1		2					(1)		
	警防課	2	(1)							2					(1)		
	通信情報課	6	(1)					1		2		3			(1)		
	計	80		13		23		17		12		14		1			
	署長	1												1			
	首席審議員																
中	副署長																
央消防署	中央署	43		7		14		7		9		6					
署	東分署	9		1		3		3				2					
	西分署	9		1		3		2		1		2					
	北分署	9		3				3		1		2					
	中分署	9		1		3		2		1		2					

※()は兼務

◆ 勤続年数別職員数

区別	合 計	消防士	消防副士長	消防土長	消 防司令補	消防司令	消防司令長	消防監
合 計	108	17	26	22	19	19	4	1
平均(年)		2.6	8.7	14.0	21.5	29.3	35.5	35.0
0~1	4	4						
1~2	3	3						
2~3	2	2						
3~4	1	1						
4~5	1	1						
5~6	9	6	3					
6~7	2		2					
7~8	3		3					
8~9	2		2					
9~10	6		6					
10~11	3		3					
11~12	8		6	2				
12~13	2		1	1				
13~14	7			7				
14~15	5			5				
15~16	2			2				
16~17	2			2				
17~18	3			3				
18~19	1				1			
19~20	6				6			
20~21	3				3			
21~22	1				1			
22~23								
23~24	2				2			
24~25	3				3			
25~26					1			
26~27	5				2	3		
27~28	2					2		
28~29	8					8		
29~30								
30~31								
31~32	1					1		
32~33								
33~34	1					1		
34~35	6					4	2	
35~36	1							1
36~37	1						1	
37~38								
38~39							1	
39~40	·							
40~41								
41~42								
71 72								

◆ 年齢別職員数

区別	合 計	消防士	消 防 副士長	消防土長	消 防 司令補	消防司令	消 防 司令長	消防監
合 計	108	17	26	22	19	19	4	1
平均(年齢)	36.15	22.24	29.23	34.91	41.58	49.16	55.25	53
18	2	2	20.20	0+.01	+1,00	+0.10	00.20	00
19	2	2						
20	1	1						
21	3	3						
22	1	1						
23	2	2						
24	3	2	1					
25	2		2					
26	4	3	1					
27	5	1	4					
		I						
28	2		2					
29	2		2					
30	6		6					
31	5		4	1				
32	3		1	2				
33	3		1	2				
34	5		1	4				
35	5		1	4				
36	5			5				
	5			2	2			
37					3			
38	2			1	1			
39	1			1				
40	3				3			
41	2				2			
42	3				3			
43	2				2			
44	4				3	1		
45						1		
46	5					5		
47	2				1	1		
48	2				1	1		
						ı		
49								
50	1					1		
51	3					3		
52	2					2		
53	4					3		1
54	3					1	2	
55	1						1	
56								
57								
58	1						1	
59	'						'	
60								

◆ 消防予算

【歳入】

	令和5	5年度	令和6	6年度
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
分担金及び負担金	961,949	91.84	1,056,485	76.98
使用料及び手数料	649	0.06	650	0.05
寄付金	1	0.00	1	0.00
諸収入	2,272	0.22	3,305	0.24
組合債	76,000	7.26	302,600	22.05
国庫支出金	1	0.00	1	0.00
県支出金	660	0.06	614	0.04
財産収入	9	0.00	5	0.00
繰入金	1,891	0.18	4,828	0.35
繰越金	4,000	0.38	4,000	0.29
歳入合計	1,047,432	100	1,372,489	100

【歳出】

	令和5	5年度	令和6	6年度
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
人件費	742,050	70.85	793,109	57.79
物件費	70,288	6.71	80,889	5.89
維持補修費	1,295	0.12	950	0.07
扶助費	15,550	1.49	15,680	1.14
補助費等	4,319	0.41	4,261	0.31
普通建設事業費	82,631	7.89	348,343	25.38
災害復旧事業費	0	0.00	0	0.00
公債費	129,290	12.34	127,252	9.27
積立金	9	0.00	5	0.00
予備費	2,000	0.19	2,000	0.15
歳出合計	1,047,432	100	1,372,489	100

◆ 職員の教育実施状況

1 消防学校及び消防大学校入校

		昭和53年から平成25年		平	成 (5	拝度)			:	令 和			計
		までの合計	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	āl
	初任科	96	10	4	9	3	5	4	6	2	2	3	144
	初級幹部科	26		2		2					1		31
	警防科	34		2				2		1		2	41
	救助科	60	2	2	2	2	1	2		1	1	5	78
	予防科	34											34
能	危険物科	6		2			2					2	12
本	予防査察科	6	2		2						1		11
県	救急科	108	5	5	3	3	4	6	3	5	6	6	154
防	指導員研修	36	2				2			2	2		44
熊本県消防学校	火災調査科	28					2	2		1		1	34
仪	特殊災害科	8	2				2	1		1			14
	中級幹部科	8	2		2		2	2		1			17
	上級幹部科	4											4
	警防隊員研修							2		1	1	2	6
	気管挿管講習	13	2	2									17
	計	467	27	19	18	10	20	21	9	15	14	21	641
	幹部科(上級含む)	14	1	1	1	1						1	19
	警防科	10				1							11
	予防科	8		1				1					10
消	危険物科	2			1								3
万大	救急科	9										1	10
消防大学校	救助科	3	1							1			5
校	火災調査科	2										1	3
	新任教官科	3					1						4
	違反是正特別講習	1	1										2
	計	52	3	2	2	2	1	1	0	1	0	3	67

2 救急救命士資格 • 気管挿管認定 • 薬剤投与認定取得状況

	平成3年から 平成25年ま		平 成 (年度)				令 和				計	
	での合計	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	- I
救急救命士	19	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	31
気管挿管	19	2	2	3	3	3	2	1	1	2	2	40
薬剤投与	21	1	2	2	2	3	3	2	1	2	1	40
処置拡大2行為			4	2	7	8	6	2	1	2	1	33

◆ 職員の特殊技能・資格取得状況

◆ 職員の特殊技能・貨格取侍状沈										
	階級別		合	消防	消防副	消 防 士	消防司	消防	消防司	消防
職	員数		計	±	士 長	長	令 補	司令	司令長	監
V27+127			108	17	26	22	19	19	4	1
資格	大型 1	種	93	3	25	22	19	19	4	1
	大型特	···· 殊	12		1		3	5	2	1
	ф	型	4		2	2				
	 普 通 1	種	108	17	26	22	19	19	4	1
	自 動 二	輪	59	5	10	11	12	18	2	1
	けん	引	3					3		
	特殊無線技	±	102	11	26	22	19	19	4	1
	アマチュア無線	技士	7					6	1	
	潜水	Τ	77	2	14	21	17	18	4	1
	小型船舶操系	芷 士	36	1	2	2	14	14	3	
	救助課程修了	了者	43		2	13	14	10	3	1
そ	救 急 救 命	士	36	5	5	11	7	6	1	1
	救急標準課程修	了者	80	1	20	16	19	19	4	1
の	応急 手 当 指 導	拿 員	100	9	26	22	19	19	4	1
	衛生管理者(第1		5				1	3	1	
他	甲種危険物取技	没 者	4		1		2	1		
σ	乙種危険物取	设 者	93	9	21	21	19	18	4	1
の	甲種消防設備	= 士	3			1	1	1		
免	乙種消防設備		34		3	2	13	13	2	1
	酸素欠乏危険作業主	_	25		1	7	9	5	3	
許	特定化学物質等作業主	任者	7		2		4	1		
	ガス溶接	土	21		3	6	8	3	1	
•	車両系建設機械(整		19	1	3	6	4	4	1	
次	車両系建設機械(解		17	1	3	6	3	4		
資	クレーン(5t未満含		63		10	19	18	14	2	
格	玉掛技能	者	52		9	15	16	9	2	1
	電気工事	士	7		1	1	3	1	1	
	チェーンソー		29		7	10	8	4	,	
	予防技術検定(危険		16		2	4	5	4	1	
	予防技術検定(設備 る際共業検索(本		6		1	1	3	1		
	予防技術検定(査		33	1	5	9	8	7	3	
	航空特殊無線技	文 工	2					1	1	

消防活動

◆ 消防用車両配置状況

	車両名	車種名	大 型 式	排気量	年式	無線呼出
	救急1号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H26	人消中央 1
	救急2号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H23	人消中央 2
	救急3号車	トヨタハイメディック	TC-VCH38S	3,370cc	H15	人消中央 3
	1号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA改	6,400cc	H27	人消中央11
	2号車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA改	7,960cc	H13	
	3号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA改	6,400cc	H30	人消中央13
	水槽車	三菱ザ・グレート	U-FP418H	11,140cc	H2	人消中央14
	指揮1号車	トヨタハイエース	CBF-TRH226K	2,690cc	R1	人消中央31
	指揮2号車	トヨタランドクルーザープラド	3DA-GDJ150W	2,750cc	R3	人消中央32
	救助工作車	日野	2KG-GX2ABA	5,120cc	R5	人消中央51
本部	梯子車	日野梯子車専用シャシ	2DG-PR1APJF	8,860cc	H31	人消中央52
•	資機材搬送車	三菱キャンター	TKG-FGB70	2,990cc	H25	人消中央53
中山	赤バイ1号	ホンダ	MD 31E	250cc	H9	
央署	赤バイ3号	ホンダ	MD 23E	220cc	H9	
	赤バイ5号	ホンダ	MD 23E	220cc	H9	
	赤バイ6号	ホンダ	BA-MC 34E	223cc	H15	
	災害救援車	ニッサンシビリアン	ABG-DJW41	4,470cc	H30	
	司令車	トヨタエスクァイア	DAA-ZWR80G	1,790cc	R1	
	事務連絡1号	ニッサンエクストレイル	DBA-T32	1,990cc	H30	
	事務連絡2号	ニッサンノート	DAA-HE12	1,190cc	H30	
	事務連絡3号	トヨタシエンタ	DBA-NSP170G	1,490cc	H28	
	予防査察車	ホンダエヌバン	HBD-JJ1	650cc	R1	
	小型搬送車	ダイハツハイゼット	EBD-S510P	650cc	H28	
	重機	コベルコSK55SR-6E	PS04012925	2,189cc	R2	
	重機搬送車	いすゞフォワード	2KG-FVZ60U2	7,790cc	R2	
	高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R4	人消東 1
東	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H29	人消東11
東分署	-	ニッサン				八月末11
者	錦町多機能車	<u> </u>	LDF-CW8E26	2,480cc	H31	
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H30	人消西 1
西分署	タンク車	日野デュトロ	2KG-XZU685M	4,000cc	R4	人消西11
署	<u> </u>		ZNG AZOOOSIVI	4,00000	1 1	NAC I I
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H23	人消北 1
北分	タンク車	日野デュトロ	2KG-XZU685M	4,000cc	R3	人消北11
署	広報車	ロ野ノュドロ ニッサンAD	E-WFNY10改	1,490cc	 H7	人消北31
	四報車 高規格救急車	トヨタハイメディック	3BF-TRH226S	2,690cc	R3	人消北31
中公						
分署	タンク車	日野デュトロー	TKG-XZU685M	4,000cc	H30	人消中11
	広報車	ニッサンAD	GJ-VFY11	1,490cc	H12	人消中31

◆ 消防用特殊資機材保有状況

	月的几时外具被约			配	置部	署	
	品 名•規 格	数量	中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
	マンホール救助器具	1	1				
	鍵付きはしご	7	3	1	1	1	1
	三連はしご	7	5	1		1	
	安全マット	5	5				
救	救命索発射装置	1	1				
助器具	サバイバースリング	1	1				
具	エバックハーネス	1	1				
	救助マット	1	1				
	山岳救助資機材一式	2	2				
	バスケットストレッチャー	2	2				
	スケッドストレッチャー	1	1				
	エンジンカッター	5	1	1	1	1	1
	チェーンソー	6	2	1	1	1	1
破	酸素溶断器	1	1				
壊	電動ハンマドリル	1	1				
用具	油圧式救助器具	1	1				
	エアーソー	1	1				
	エアーカッター	1	1				
	電動切断機	1	1				
	ヘルメット	5	5				
	PFD	5	5				
水難	救命胴衣	196	120	15	15	15	31
救	スローバック	14	8	1	3	1	1
助田	救命浮環	17	13	1	1	1	1
用具	救命ボート	12	9	1	1		1
	船外機	5	5				
	潜水器具一式	10	10				
	検知管式ガス測定器	2	2				
	複合ガス測定器	1	1				
	炭化測定器	3	1	1	1		
測 定 器	放射温度計	5	1	1	1	1	1
器	放射線個人線量計	7	7				
	表面汚染検査計	3	3				
	ガンマ線・エックス線用 線量率計	4	4				

	品 名•規 格	数量		配	置部	署	
		奴 里	中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
	自動式人工呼吸器	6	2	1	1	1	1
	自動心マッサージ器	6	3		1	1	1
	電動式吸引器	9	5	1	1	1	1
求々	陰圧式固定具(全身)	2			1	1	
急	陰圧式固定具(部分)	5	3		1	1	
用	訓練用人形	32	25	1	2	2	2
救急用資機材	自動体外式除細動器	10	6	1	1	1	1
材	患者監視装置	7	3	1	1	1	1
	エアーテント (多数傷病者救護所)	2	2				
	オゾン殺菌脱臭機	5	1	1	1	1	1
	空気呼吸器	40	28	3	3	3	3
	投光器	15	8	2	3	1	1
	発電機	14	8	1	1	2	2
	ジェットシューター	18	5	4	3	3	3
	ジェットシューター給水器	2	1			1	
	可搬消防ポンプ	7	4	1	1	1	
	送排風機	2	2				
	可搬ウィンチ	2	2				
そ	張力計	1	1				
の	耐 電 服	8	8				
他	耐電手袋(高圧)	12	8		2	2	
	耐電長靴	8	8				
	エアーコンプレッサー	5	1	1	1	1	1
	空気充填設備	1	1				
	暗視カメラ	1	1				
	熱画像直視装置	1	1				
	簡易画像探査機	1	1				
	消防活動用無人航空機 (ドローン)	1	1				

◆ 消防水利

	713											
			市	町村	寸	人	錦	相	五	E	球	
						吉		良	木	江	磨	計
種	別					市	町	村	村	村	村	
消	基	準		適	合	377	83	53	1	17	43	574
火	基	準	適	合	外	178	210	90	20	65	80	643
栓	小				計	555	293	143	21	82	123	1217
防	2	0	m³	未	満	10	114	43	4	5	48	224
	20)m³以	上4	O m³ =	未満	99	17	5		11	11	143
火	4 () ㎡以	上6	O m³ =	未満	160	130	86	46	78	28	528
水	60) m³以_	L10	O m³:	未満		1	2			1	4
	1	0 (O m	r³ 以	上		1	1			1	3
槽	小				計	269	263	137	50	94	89	902
		プ -	- ル			16	6	4	3	3	6	38
dž				840	562	284	74	179	218	2157		

◆ 救助業務

1 救助の概要

種別 出場件数	1 教助の数	1154					
火 災 活動件数 数助人員 1 2 交通事故 出場件数 25 20 15 27 活動件数 18 13 8 16 表助人員 19 13 8 25 水難事故 1 3 4 水難事故 1 2 4 水難事故 1 2 4 風水害等自然災害 出場件数 1 37 1 1 大動人員 29 1 1 1 2 機械による事故 238 1 4 大動人員 2 1 1 1 1 1 2 大動人員 2 1 1 1 1 1 1 建物等による事故 1 3 2 大力ス及び酸欠事故 活動件数 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1 活動件数 1 1 1 1 1	重 別	年別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
救助人員 出場件数 25 20 15 27 交通事故 活動件数 18 13 8 16 救助人員 19 13 8 25 北場件数 1 3 4 水難事故 活動件数 1 2 4 風水害等自然災害 日場件数 1 37 1 1 国水害等自然災害 日場件数 1 37 1 1 活動件数 29 1 1 1		出場件数		1	1	2	1
受通事故 出場件数 25 20 15 27 活動件数 18 13 8 16 救助人員 19 13 8 25 出場件数 1 3 4 水難事故 活動件数 1 2 4 救助人員 1 37 1 1 活動件数 1 37 1 1 活動件数 29 1 1 活動件数 238 1 4 機械による事故 5 1 1 2 活動件数 2 1 1 1 建物等による事故 活動件数 3 2 活動件数 3 2 対ス及び酸欠事故 1 1 1	火 災	活動件数			1	2	1
交通事故 活動件数 18 13 8 16 救助人員 19 13 8 25 水難事故 出場件数 1 3 4 水難事故 活動件数 1 2 4 水助人員 1 2 4 風水害等自然災害 1 37 1 1 活動件数 29 1 1 大高事故 1 2 1 1 機械による事故 5 1 1 2 大高事故 2 1 1 1 建物等による事故 1 1 1 1 建物等による事故 1 1 1 1 大る事故 2 1 1 1 大る事故 1 1 1 1 大る事故 2 1 1 1 大る事故 1 1 1 1 大名司事故 1 1 1 1 大名司事故 1 1 1 1 大名司事故 1 1 1		救助人員					1
救助人員		出場件数	25	20	15	27	14
水難事故 出場件数 1 3 4 水難事故 活動件数 1 2 4 救助人員 1 37 1 1 風水害等自然災害 29 1 1 機械による事故 238 1 4 機械による事故 5 1 1 2 活動件数 2 1 1 1 建物等による事故 3 2 1 お助人員 3 2 対ス及び酸欠事故 1 1 1	交通事故	活動件数	18	13	8	16	7
水難事故 活動件数 1 2 4 救助人員 1 2 4 風水害等自然災害 出場件数 1 37 1 1 活動件数 29 1 1 救助人員 238 1 4 世場件数 5 1 1 2 活動件数 2 1 1 1 建物等による事故 1 1 2 活動件数 3 2 対力ス及び酸欠事故 1 1 1 活動件数 1 1 1		救助人員	19	13	8	25	8
救助人員		出場件数		1	3	4	4
風水害等自然災害出場件数13711活動件数2911救助人員23814機械による事故出場件数5112活動件数2111建物等による事故出場件数542活動件数32対ス及び酸欠事故活動件数11	水難事故	活動件数		1	2	4	2
風水害等自然災害 活動件数 29 1 1 救助人員 238 1 4 機械による事故 出場件数 5 1 1 2 活動件数 2 1 1 1 建物等による事故 出場件数 5 4 2 活動件数 3 2 対入及び酸欠事故 活動件数 1 1		救助人員		1	2	4	2
自然災害 活動件数 238 1 4 機械による事故 出場件数 5 1 1 2 機械による事故 活動件数 2 1 1 1 対助人員 2 1 1 1 建物等による事故 活動件数 3 2 が助人員 3 2 が助人員 3 2 が助人員 1 1 がた事故 1 1 活動件数 1 1 活動件数 1 1 活動件数 1 1		出場件数	1	37	1	1	
救助人員 238 1 4 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1	風水害等自然災害	活動件数		29	1	1	
機械による事故 活動件数 2 1 1 1 救助人員 2 1 1 1 建物等による事故 活動件数 3 2 活動件数 3 2 対入及び酸欠事故 活動件数 1 1 活動件数 1 1 活動件数 1 1 活動件数 1 1		救助人員		238	1	4	
よる事故 活動件数 2 1 1 1 救助人員 2 1 1 1 建物等による事故 活動件数 3 2 対助人員 3 2 世場件数 1 1 ガス及び酸欠事故 活動件数 1 1	1446 1 12 1 1 -	出場件数	5	1	1	2	
救助人員 2 1 1 建物等による事故 活動件数 3 2 対助人員 3 2 対ス及び酸欠事故 活動件数 1 1	機械による事故	活動件数	2	1	1	1	
建物等による事故 活動件数 3 2 救助人員 3 2 出場件数 1 1 ガス及び酸欠事故 活動件数 1 1	0,0,10	救助人員	2	1	1	1	
よる事故 活動件数	7 11 total -	出場件数		5	4	2	1
救助人員 3 2 ガス及び酸欠事故 活動件数 1 1	建物等による事故	活動件数		3	2		1
ガス及び 酸欠事故 1 1 1		救助人員		3	2		1
酸欠事故 ^{冶動件数}	+" ¬ ¬ ¬ ¬ "	出場件数	1	1			
		活動件数	1	1			
		救助人員	1	2			
出場件数		出場件数					
破裂事故 活動件数	破裂事故	活動件数					
救助人員		救助人員					
	7 0 111 0	出場件数	6	9	9	13	17
その他の事 故 活動件数 5 6 5 10	その他の事故	活動件数	5	6	5	10	12
	3 - 3,	救助人員	5	7	5	10	13
出場件数 38 75 34 51		出場件数	38	75	34	51	37
総 計 活動件数 26 54 20 34	総計	活動件数	26	54	20	34	23
救助人員 27 265 19 44		救助人員	27	265	19	44	25

2 救助技術大会出場の変遷

出場年	出場種目	九州地区指導会	全国大会	備考
平成15年	ロープ登はん ロープブリッジ救出 引揚救助 ほふく救出	1 名 2チーム 1チーム 1チーム		陸上の部
	水中結索 水中検索救助	2チーム 1チーム	1チーム 1チーム	水上の部
平成16年	ロープ登はん ロープブリッジ救出 引揚救助 ほふく救出	1 1 チーム 1 チーム 1 チーム	1 名 1チーム	陸上の部
	水中結索 水中検索救助	2チーム 1チーム	1チーム	水上の部
平成17年	ロープ登はん ロープブリッジ救出 ほふく救出	1 名 1チーム 1チーム	1 チーム	陸上の部
	水中結索 水中検索救助	1 チーム 1 チーム	1チーム	水上の部
平成18年	ロープブリッジ救出 ほふく救出 引揚救助	1 チーム 県大会 1 位通過 全国決定 1 チーム	1 チーム 1 チーム	陸上の部
	水中結索 水中検索救助	1 チーム 1 チーム	1チーム	水上の部
平成19年	水中結索 水中検索救助	1 チーム 1 チーム	1チーム	水上の部
平成20年	水中結索 水中検索救助	2チーム 1チーム	1チーム 1チーム	水上の部
平成21年	ロープブリッジ救出 水中結索	1 チーム 県大会1位通過 全国決定	1チーム	陸上の部 水上の部
平成22年	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
平成23年 平成24年	I 引揚救助	東日本大震災に	より入芸甲正	陸上の部
平成24年	51	_	_	
平成26年	_	_	_	_
平成27年	基本泳法	県大会2位通過 全国決定		水上の部
平成28年	人命救助	熊本地震により県大会中止 各本部割り当てで全国決定		水上の部
平成29年	ロープブリッジ救出			陸上の部
平成30年	ロープブリッジ救出		台風20号の影響により 全国大会中止	陸上の部
令和元年	ロープブリッジ救出 ほふく救出 基本泳法	1 チーム 県大会1位通過 全国決定 県大会1位通過 全国決定	1 チーム 1 チーム 1 名	陸上の部 水上の部
令和2年	新型コ		大防止のため大会の	中止
令和3年		ロナウイルス感染拡	太大防止のため大会の	中止
令和4年	ロープブリッジ救出	1チーム		陸上の部
令和5年	基本泳法 複合検索 溺者搬送	_	3チーム	水上の部

◆ 火災統計

1 原因及び火災種別出火件数

火災種別	建	物火	災	林	車	そ	爆	合
	専共併用同用	倉庫・畜舎・	工場・学校・店舗その他・飲食店・	野	固	の 他		
	住	田舎•	· 校飲 · 食	火	火	の 火		
原因別	宅	納 屋	店店 舗•	災	災	災	発	計
火 入 れ								
放火								
放火の疑い								
た き 火				1		2		3
焼却火		2				4		6
たばこ						1		1
火 遊 び								
こ ん ろ			2					2
マッチ・ライター								
コンセント								
ス ト ー ブ								
配線器具	1	1						2
電気機器								
ボイラー								
電気装置								
電灯電話等の配 線								
排 気 管								
風呂かまど								
そ の 他	3				1	1		5
不明•調査中								
合 計	4	3	2	1	1	8		19

2 火災出場状況

	区分		火災	災 件:	数(件)			焼	損	東数	(核	₹)	
月別		計	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	住宅	非住宅
R2年(20	020)	27	9	1	4		13	14	5			9	4	10
R3年(20	021)	30	10	1	7		12	14	4		3	7	7	7
R4年(20	022)	34	18	4	2		10	33	15		11	7	15	18
R5年(20	023)	19	9	1	1		8	11	3	1	4	3	6	5
1	月	3	2				1	3	1		2		2	1
2	月	1					1							
3	月	3		1			2							
4	月	2	1				1	2		1		1	2	
5	月	2	2					2	1		1			2
6	月	1	1					1				1		1
7	月													
8	月	1			1									
9	月	2					2							
10	月	1	1					1			1		1	
11	月	2	2					2	1			1	1	1
12	月	1					1							
人言	吉 市	5	3				2	3			2	1	1	2
錦	町	6	5				1	6	3		2	1	3	3
相 E	良 村	4			1		3							
五 7	大 村													
Ш	工 村	3	1	1			1	2		1		1	2	
球界	善村	1					1							

死 損へ 罹 罹 負 建物(㎡) 林野 災 手 害 円 災 傷 表 世 者 者 人 帯 床 а 額し 数 員 数 数 面 12 1 3 32,037 1,165 252 7 5 4 11,735 303 19 33 11 1,241 110 28 15 37 2 1 81,919 445 58 12 1 1 23,800 6 5 2 17,674 200 4 1 271 2 3 15 35 13 1,251 103 2,500 5 1 3 2,096 127 2 1 1 1 135 8 1 3 430 15 3 6 1 20,894 2,500

2

3

積

焼 損 面

15

35

11〇二四年度全国統一防火標語11〇二四年度全国統一防火標語

98

173

◆ 救急統計

1 救急の概要

1 3×100 × 100 × 1								
区公	救急事故種別(出場件 出場件数 搬送人員							
月別			火	災	自然災害	水	難	
R2年(2020)	2,755	2,616		9	52		1	
R3年(2021)	2,796	2,629		5	1		3	
R4年(2022)	3,098	2,942		13	1		4	
							-	

R5年(2	202	3)	3,115	2,919	10	3
1		月	310	291	2	
2		月	213	200	1	
3		月	251	236		
4		月	212	199	1	
5		月	237	227	2	
6		月	204	194		2
7		月	312	290		
8		月	298	276	1	
9		月	257	246		
1	0	月	254	232	2	
1	1	月	275	257	1	
1	2	月	292	271		1

人	吉	市	1,975	1,853	4	1
錦		田	512	478	4	1
相	良	村	219	201	1	1
五	木	村	73	69		
Ш	江	村	151	145	1	
球	磨	村	154	150		
高	速道	路	28	20		
管	轄	外	3	3		

		į	枚急事故種別	(出場件数)			
交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急 病	その他
135	55	20	446	6	16	1,750	265
136	39	16	429	6	26	1,828	307
172	42	12	482	10	20	2,039	303
158	31	22	496	6	18	2,041	330
9			34			234	31
5	2		40		1	136	28
20	6		31		1	157	36
15	2	2	42	1	1	124	24
11	2	6	33	1	1	159	22
11	3	1	37		1	131	18
12	7	4	52		1	200	36
11	3	5	46		3	204	25
19	3	1	51	1	1	159	22
19		1	37	1	3	165	26
21	1	2	44	1	3	172	30
5	2		49	1	2	200	32
76	11	12	307	5	12	1,259	288
40	8	3	76		2	354	24
18	1	2	39	1	2	148	6
4	2	1	8			53	5
3	4	4	33		1	103	2
3	5		30		1	111	4
13			1			13	1
1			2				

2 曜日別・時間別救急出場件数

	事故種別	3] • 時間 合	火	自 然	水	· 交 通	労働	運動	一般	力D	自損	急	そ
区分		計	災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	行為	病	の他
	計	3,115	10	0	3	158	31	22	496	6	18	2,041	330
	月	472	2			19	7		71		2	311	60
	火	469	2			23	7	5	72		3	300	57
曜	水	451			2	19	4	2	78	1	3	303	39
	木	396	3			30	3	2	61	1	3	252	41
	金	427			1	26	7		74	1	2	258	58
	土	435	1			23	2	7	67	2	3	292	38
		465	2			18	1	6	73	1	2	325	37
	0~2	129	1			3			14	3	1	95	12
	2~4	114				2	1		7			95	9
時	4~6	127	1			1			19		2	98	6
	6~8	220			1	10			37		1	161	10
	8~ 10	397				16	7	2	69		3	260	40
間	10~ 12	408	2		1	25	6	9	75		3	224	63
印	12~ 14	355				19	4	7	60	2	1	213	49
	14~ 16	298	1			22	7	1	39		5	186	37
	16~ 18	358	2		1	28	4	3	64			207	49
別	18~ 20	315	1			16	2		57			215	24
	20~ 22	223	2			8			35		2	156	20
	22~ 24	171				8			20	1		131	11

3 救急事故種別搬送状況

<u>ろ数</u>		(性力)が)	<u> </u>	<i>.//</i> Li										
	種別	合		事			故			種		別		不
			火	自然	水	交通事故	労働	運動	- 般	カO	自損	急	その	搬
区分		計	災	災害	難	事 故	災害	競 技	負傷	害	行為	病	他	送
出場	件数	3,115	10		3	158	31	22	496	6	18	2,041	330	
傷 % 搬 送	考 者 件数	2,909	1		1	137	28	22	474	4	12	1,943	287	206
搬	男	1,474		_	1	95	24	13	209	2	6	967	157	
送人	女	1,445	1			49	4	9	268	2	6	976	130	
員	計	2,919	1	0	1	144	28	22	477	4	12	1,943	287	\setminus

4 傷病程度別搬送人員

	種	別	合		事			故			種		別	
傷病科	呈度		計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死		亡	0											
重		症	135	1			6	Ø		14		ß	73	35
ф	等	症	1,689				46	13	ß	264	2	7	1,103	251
軽		症	1,095			1	92	12	19	199	2	2	767	1
そ	の	他	0											
合		計	2,919	1	0	1	144	28	22	477	4	12	1,943	287

5 救急隊員が行った応急処置件数

5 救忌隊員が行うに心忌物	四旦什女				
事故種別 項 目	急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計
対 象 人 員	1,943	144	477	355	2,919
止血	14	6	27	3	50
固定	5	75	51	14	145
人 工 呼 吸	12				12
胸 骨 圧 迫	1				1
心 肺 蘇 生	39	1	9	4	53
酸素吸入	462	22	40	96	620
気 道 確 保	65	1	9	7	82
(うち経鼻エアウェイ)	6				6
(うち喉頭鏡・鉗子等)			2		2
(うちラリンゲアルチューブ等)	4		1	1	6
(うち気管挿管チューブ)	1		3		4
保温	596	21	96	212	925
被覆	14	26	71	13	124
在宅療法継続	1				1
ショックパンツ					0
除細動	1				1
静脈路確保	25		5	3	33
(うちCPA前)	1			1	2
(う ち C P A 後)	23		5	2	30
薬 剤 投 与	23		4		27
血糖測定	22		1		23
エ ピ ペ ン 投 与					0
ブドウ糖投与	1				1
血 圧 測 定	1,892	144	473	335	2,844
聴診器(心音・呼吸音)聴取	357	50	38	35	
血中酸素飽和度の測定	1,585	99	445	323	2,452
心電図モニター	1,336	45	133	124	1,638
その他の応急処置	1,596	95	440	289	
合計	8,082	585	1,853	1,462	11,982

6 医療機関別搬送状況

[医		療		機			Ē	関	マ	△
救	急告	示 医	療機	関	• 1	その・	他の	医療	機関	ての	合
田	公	私	的	小	田	公	私	的	小	他	
•	Δ	病	診	7) '	•		病	診	7,1	の	
公		71/3	療		公		71/3	療		場	
立	的	院	療 所	計	立	的	院	所	計	所	計
			_								
66	1,829	935	0	2,830	0	1	17	67	85	4	2,919

◆ 通信関係

1 無線設備配置状況

1) デジタル無線

基	地	3	刯	6	3局											
固	定	<u>-</u>	局	3	3局											
陸	上移	多動	局	34	4局		(車載型	21局	/	携帯型	12局	/	卓上型	1局)		
				活	動	波	1									
				活	動	波	2									
無	線	種	別	主	運用	波	7									
///\	心水	俚	וכט	統	制	波	1									
				統	制	波	2									
				統	制	波	3									

無線従事者

陸上特殊無線技士104名(航空特殊無線技士2名含)

≪1級陸上(1名)2級陸上(33名)3級陸上(70名)≫

消防本部・中央消防署
ひとしょうほんぶ

©定局高塚山向け 1 mW

陸上移動局
車載型 5W 11局
卓上型10W 1局
携帯型 1W 8局

中央消防署東分署 ひとしょうひがし 陸上移動局 車載型 5W 2局 携帯型 1W 1局 中央消防署西分署 ひとしょうにし 陸上移動局 車載型 5W 2局 携帯型 1W 1局

中央消防署北分署 ひとしょうきた 陸上移動局 車載型 5W 3局 携帯型 1W 1局 中央消防署中分署 ひとしょうなか 陸上移動局 車載型 5W 3局 携帯型 1W 1局

高塚山
ひとしょうたかつかやま
基地局 1 OW

B定局 本部向け 1 mW

B定局 八原向け 2 O O mW

八原 ひとしょうやつはる 基地局 1 OW ^{固定局 高塚山向け 2 O O mW}

球磨村役場 ひとしょうくまむらやくば 基地局 1 OW

一般国道トンネル しょうぼう きゅうしちとんねる 基地局 20W 高速道路トンネル ひとしょうひごとんねる 基地局 20W ひとしょうかくとう 基地局 10W

- 2) アナログ無線 陸上移動局 (携帯型 署活系無線機1W) 5局
- 3)業務用IP無線 25局(車載型1局 携帯型23局 卓上型1局)

2 通報統計 (1)時間別着信状況

令和5年中

	/ 0015	المال (المال	ハルロ							1-	利の十七
種別 時間	火災	救急	救助	その他 出動	試験	間違い	その他	いた ずら	問合せ	通報訓練	計
0	4	62	1			4	15		3		89
1	1	49	1			4	5		1		61
2	1	59			2	4	7		2		75
3		38			2	2	7		1		50
4	1	50	1			1	8				61
5		64				3	9		3		79
6	1	87		1		10	8	1	1		109
7	1	112	1	1		13	14		5		147
8		167		2	1	18	14	1	4	24	231
9	1	201	1	1	29	18	22		4	67	344
10	2	178	1	1	40	28	28		7	100	385
11	1	192	2		31	17	27		5	24	299
12	1	186	1	2	18	21	33	1	4	9	276
13	1	147	1		30	18	17		2	30	246
14	2	142			31	18	26			62	281
15		148	1	1	28	22	12		1	26	239
16	2	172			15	11	18		3	14	235
17		175	1	1	11	21	18		5	6	238
18	1	147				16	12		5	3	184
19	4	149		1	1	14	24		3	9	205
20	2	99			1	13	14		7		136
21	1	114			1	9	12		1		138
22		76	1			11	19		3		110
23		78				5	16		2		101
計	27	2,892	13	11	241	301	385	3	72	374	4,319

(2) 月別119着信状況

令和5年中

月別	火災	救急	救助	その他出動	試験	間違い	その他	いた ずら	問合せ	通報 訓練	計
1	4	297	1	2	15	19	24		5	18	385
2		208		2	10	14	27		5	24	290
3	5	232	6	3	24	30	40		4	42	386
4	6	188			21	16	37	1	7	18	294
5	1	212		2	9	39	38		6	37	344
6	1	188	1		49	41	18		5	23	326
7		285		1	18	34	44		6	21	409
8	1	283	1		8	26	47		5	21	392
9	2	240			24	29	26	1	8	16	346
10	1	231			20	17	20		8	48	345
11	4	250	3	1	16	17	24		4	72	391
12	2	278	1		27	19	40	1	9	34	411
計	27	2,892	13	11	241	301	385	3	72	374	4,319

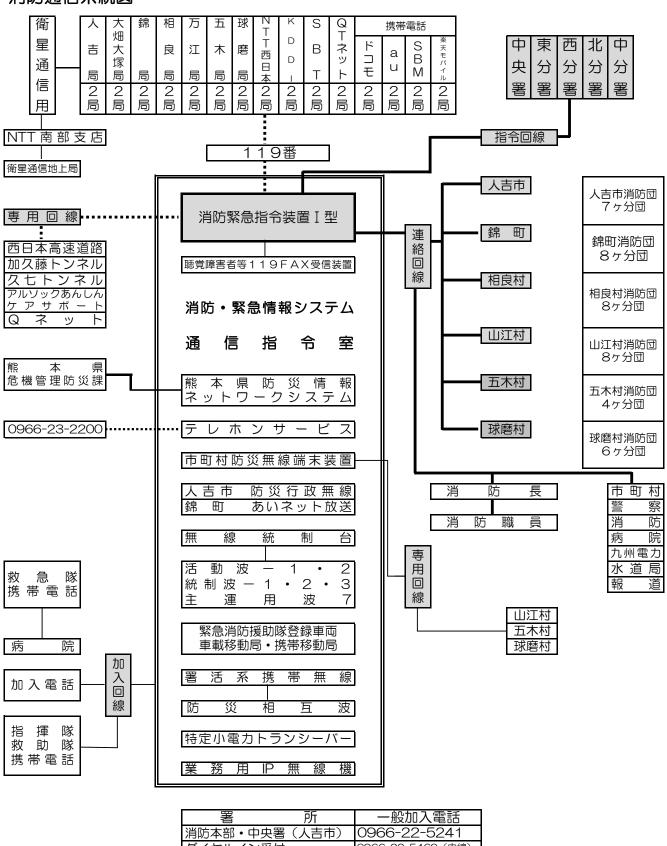
3 気象情報

区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温(℃)	19.7	19.8	25.5	28.2	32.9	33.7	36.4	36.5	35.9	31.7	27.6	19.6
最低気温(℃)	-4.1	-2.3	-1.7	2.3	7.4	14.5	22.4	22.0	18.8	6.1	0.5	-4.2
平均気温(℃)	5.0	7.6	12.3	15.7	19.7	22.9	27.2	27.6	25.9	16.9	12.1	7.0
年間平均気	ā温	16.7	$^{\circ}$ C	年間最	高気温	36.5	$^{\circ}$	年間最	低気温	-4.2	$^{\circ}$	
平均風速(m/s)	1.4	1.3	1.3	1.5	1.5	1.1	0.9	1.5	1.0	1.0	1.2	1.1
最大風速(m/s)	23.4	14.2	17.1	19.1	14.5	11.8	11.4	20.4	11.8	12.1	16.5	16.1
同上風向	北西	西北西	北北西	西北西	北西	西北西	南	南東	西北西	西北西	西北西	西北西
年間平均原	虱速	1.2	m/s	最大	風速	23.4	m/s					
降水量(mm)	77.5	142.5	100.5	265.0	235.5	449.0	288.0	203.5	66.0	82.0	60.0	87.5
年間降水	量	205	7.0 mm	月	最大降水	(量)	3月	449.0	mm			
平均湿度(%)	88.3	87.8	84.4	82.7	83.0	89.4	90.2	88.8	88.3	86.3	88.5	92.3
年間平均流	显度	87.5	%									

4 通信指令施設概要

項目	番号	品名	数量	単位	備考
	1	指令台	2	台	
	2	自動出動指定装置	2	台	24型カラー液晶ディスプレイ
	3	地図等検索装置	2	台	24型カラー液晶ディスプレイ
	4	長時間録音装置	1	台	多チャンネル型、HDD及びBlu-rayバックアップ
	5	非常用受付設備	5	式	INS119番受付装置
/조	6	指令制御装置	1	式	
通	7	119補助受付電話機	2	式	
信	8	署所端末装置	5	台	中央(1)·東(1)·西(1)·北(1)·中(1)
指	9	拡張台	2	台	
	10	多目的情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ 表示盤制御端末含む
令	11	支援情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
シ	12	車両運用表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	13	無線統制台	1	台	活動波・主運用波・統制波
ス	14	指令伝送装置	5	式	デスクトップパソコン(地図検索機能)
テ	15	気象情報収集装置	1	式	
Δ	16	音声合成装置	1	兙	
4	17	システム監視装置	1	兙	
	18	電源装置	1	式	無停電電源装置、耐雷トランス含む
	19	総合型位置情報通知設備	1	式	
	20	支援情報システム	1	式	
	21	1 1 9 FAX受信装置	1	式	
	22	ネットワーク装置	1	式	
	23	無線回線制御装置	1	定	
無	24	管理監視制御卓	1	式	
線	25	遠隔制御器	3	台	LANタイプ:卓上型
線装置	26	基地局無線装置	3	定	送受信機増設ユニット含む
	27	7.5GHz帯多重無線装置	2	式	簡易型
	28	直流電源装置	3	台	蓄電池
そ	29	防犯カメラ	4	台	50インチモニター、32インチモニター
の	30	市町村防災無線装置	4	台	端末装置
他	31	熊本県防災情報NWシステム	1	台	

消防通信系統図



署	所	一般加入電話
消防本部•中央署()	(市吉)	0966-22-5241
ダイヤルイン受付		0966-22-5469(内線)
中央消防署東分署(針	宇町)	0966-38-0119
中央消防署西分署(斑	據磨村)	0966-32-0119
中央消防署北分署(五	ī木村)	0966-37-2119

予防業務

◆ 防火対象物現況

*	17	力火对象物現沈				
	<u> </u>	対象物等	防火対象物数 150㎡以上	防火管	理者	点検が必要 な
令	別表	長項目別	(17項を除く)	必要な 施設数	届出数	防火対象物
4	1	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	1
1		公会堂又は集会場	35	29	23	36
	1	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	1	1	1	1
2		遊戯場又はダンスホール	5	4	4	6
_	八	風俗営業店等				
	_	カラオケボックス・個室ビデオ店等	2	2	2	3
3	1	待合・料理店の類				
3		飲食店	65	47	43	184
4	1	百貨店・マーケット・物品販売店等	119	67	63	118
5	1	旅館・ホテル又は宿泊所	40	16	16	72
5		寄宿舎・下宿・共同住宅	421	36	9	418
	1	病院・診療所・助産所	61	24	24	61
	ו	老人・児童福祉施設等で介護程度の	22	26	25	24
6		重いものが入所する施設	33	26	25	34
	八	上記以外の福祉施設及び保育所等	97	43	43	100
	_	幼稚園・盲・聾・養護学校	3	3	3	3
7	7	小・中・高等学校・大学・各種学校の類	107	27	27	95
8	3	図書館・博物館・美術館	14	3	3	8
9	7	蒸気浴場・熱気浴場				
9		イ以外の公衆浴場	12	6	5	12
10	0	車両の停車場・船舶・航空機発着場	3	1	1	1
1	1	神社・寺院・教会の類	42	28	19	26
12	1	工場•作業場	339	16	15	336
12		映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	1	自動車車庫・駐車場	28			28
13		飛行機・回転翼・航空機の格納庫				
1.	4	倉庫	199			193
1:	5	前各項に該当しない事業場	557	44	41	391
	1	令別表(1)~(5)イ・(6)・(9)イの用途	050	07	00	024
16	1	に供する部分のある複合用途対象物	258	97	90	234
		イ以外の複合用途対象物	142	9	6	88
1	7	文化財・重要文化財	22	1	1	21
		合 計	2,606	531	465	2,470

◆ 管内中高層建築物現況

<u> </u>	3 r y -		日廷	未物机	1/U				
		×	分	α	4	5	0)	7 階 以	包
市町村	3J			階	階	階	階	上	計
合			計	299	73	34	9	19	434
市	人	吉	市	269	70	34	9	18	400
	錦		町	18	2				20
町	相	良	村	4	1				5
村	五	木	村	4					4
	Ш	江	村						0
別	球	磨	村	4				1	5

◆ 消防法令に基づく各種届出

令和5年度中

				1土/円									
月別種別	4 月	5月	6 月	7 月	8月	9月	10 月	11 月	12	1 月	2 月	3 月	合計
消防計画届出書	27	16	4	11	8	13	9	19	11	5	6	17	146
防火管理者選解任届 出 書	10	9	2	5	3	7	7	15	9	4	4	13	88
消防用設備等着工届 出 書	8	5	5	2	3	2	5	З	5	2	2	2	44
消防用設備等設置届 出 書	6	3	4	3	6	3	5	8	8	8	6	5	65
消防用設備等点検結 果報告書	55	54	43	70	55	82	52	61	53	60	53	59	697
防火対象物使用開始 届出書	5	2	4	4	2		3	4	6	5	4	5	44
消防訓練実施計画報 告 書	19	41	25	18	23	38	62	44	31	25	39	35	400
消防訓練実施結果 報 告 書	21	33	20	14	18	23	28	62	32	15	20	40	326
煙火打ち上げ・ 仕 掛 報 告 書	4	12	З	3	3	12	11	4	2	1	2		57
少量危険物 · 指定可燃物貯蔵取扱届出書	3	2		4		3	1	1		1	1	6	22
炉・かまど・ボイラー乾燥 設 備 設 置 届 出 書	3	5	1	2		1	1	1	1	2		1	18
発電・変電・蓄電 池 設 置 届 出 書	4	4	Э	2	2	3	Э	5	1		4	3	34
禁 止 行 為 の 解 除 承 認					1		1						2
露 店 等 の 開 設 届 出 書	6	5	6	5	13	5	12	6	2	2	3	10	75
圧縮アセチレンガス 等 貯 蔵 届 出 書	1		1		4	2		2			1	4	15
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する行為	17	35	16	16	22	21	43	57	63	45	34	31	400
計	189	226	137	159	163	215	243	292	224	175	179	231	2,433

各年中

年度	実施月日	受講者数	年 度	実施月日	受講者数
平成27年度	9月17日~18日	56	令和2年度	11月19日~20日	24
平成28年度	10月6日 ~ 7日	72	令和3年度	9月28日~29日	30
平成29年度	9月28日~29日	65	令和3年度	10月4日~ 5日	29
平成30年度	9月27日~28日	55	令和4年度	9月13日~14日	18
令和元年度	9月26日~27日	51	令和4年度	1 0月19日~20日	25
令和2年度	10月13日~14日	33	令和5年度	10月26日~27日	51

◆ 建築物の同意件数

令和5年度中

				3 101		•									
	人 月	別	4	5	6	7	00	0	10	11	12	1	2	3	合
市町村	別		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
人	吉	市	9	5	1	3	3	6	6	20	12	5	7	10	87
錦		田			2			2		1	1				6
相	良	村													0
五	木	村													0
Ш	江	村								1					1
球	磨	村								2					2
合		計	9	5	3	3	3	8	6	24	13	5	7	10	96
新		築	9	4	2	2	2	8	5	22	9	4	6	10	83
増		築		1	1	1	1		1	2	4	1	1		13
改		築													Ο
用	途 変	更		_			_		_			_	_		Ο
そ	の	他												_	0

◆ 危険物施設・規制事務状況

令和5年度中

	<u>/6/X1/</u>	WU F	<u> </u>	, 411 n .	<u>, T 1</u>	<i>7</i> 3 1/\	47 U						15 100	
	施設区分	製		貯		蔵		所		耳	V 3	扱	所	
×	分	造所	貯屋 蔵 所内	タ屋 ン ク外	タ屋 ン ク内	タ地 ン ク下	夕簡 ン ク易	タ移 ン ク動	貯屋 蔵 所外	取給扱 所油	販第 一 売種	販第 二 売種	取一 扱 所般	計
	人吉市	1	12	11		33		12	3	21	1		24	118
市	錦町		3	4	1	7		1		12			13	41
⊞Ţ	相良村			3		4		5		7			1	20
	五木村		2					2		2				6
村	山江村					2			1	2				5
	球 磨 村					1		1		3				5
合	計	1	17	18	1	47	0	21	4	47	1	0	38	195
5	設置許可					1								1
規	変更許可							3		3			38	44
制	水 圧(水 張) 検 査									1			1	2
事	完 成 検 査			1		1		3		3			38	46
務	仮使用承認									3			36	39
	廃 止 届		2					2						4
合	計	0	2	1	0	2	Ο	8	0	10	0	0	113	136

		D1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
H		別	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
届	出認可	等	17	1	8	6	2	2	3	4	5	5	2	6	61

◆ 消防団の組織及び現有勢力

		人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
分団数		7	8	8	4	8	6	41
積載車		25	25	20	6	9	16	101
小型ポンプ	プ	26	25	17	12	9	11	100
	定員	559	350	350	130	200	255	1,844
	実員	293	352	261	72	136	169	1,283
	団長	1	1	1	1	1	1	6
人	副団長	3	2	2	1	2	2	12
	方面隊長	5						5
	分団長	7	8	8	4	8	6	41
員	副分団長	7		17	2	8	6	40
	部長	22	18	1	4	8	18	71
	班長	88	21	52	26	29	39	255
	団員	160	302	180	34	80	97	853

◆ 年齢別消防団員数

	人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
20歳未満	9	2		1		3	15
20歳以上30歳未満	65	70	28	13	22	18	216
30歳以上40歳未満	120	126	66	27	60	60	459
40歳以上50歳未満	93	101	92	17	49	70	422
50歳以上60歳未満	4	36	33	7	4	15	99
60歳以上70歳未満		17	42	7	1	3	70
70歳以上	2						2
合計	293	352	261	72	136	169	1,283

◆ 在職年数別消防団員数

V 12 1-W 1 3/	***********						
	人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
5年未満	44	59	31	12	28	26	200
5年以上10年未満	64	70	85	13	24	36	292
10年以上15年未満	56	69	39	12	21	28	225
15年以上20年未満	62	84	25	11	31	26	239
20年以上25年未満	50	44	38	7	23	25	187
25年以上30年未満	15	17	32	6	5	26	101
30年以上	2	9	11	11	4	2	39
合計	293	352	261	72	136	169	1,283

消防団

幼少年消防クラブ

◆ 幼年消防クラブの現況

市町村		キバトロ ファクラブ 名称	結成年月日	員数	
		中原こども園幼年消防クラブ	昭和51年7月15日	20名	
		泉田こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月8日	22名	
		アヴニール・おこばこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月11日	17名	
		蓬莱保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月13日	14名	
		人吉こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月15日	10名	
人吉	市	善隣保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月18日	10名	
<u></u> О	۱ħ	林保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月19日	16名	
		認定こども園さざなみ保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月20日	17名	
		あいだこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月21日	18名	
			こばと保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月23日	18名
		せん月保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月28日	7名	
		人吉乳児保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	17名	
		福島保育園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	24名	
	町	サン保育園幼年消防クラブ	平成6年2月15日	20名	
錦		一武こども園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	26名	
			木上ひかり保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	13名
		西保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	24名	
扣白	相良村	なつめ・あざみ合同園幼年消防クラブ	昭和58年6月13日	15名	
			及们	暁保育園幼年消防クラブ	昭和59年2月24日
ılı XT	╁ጚ	山江保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	8名	
ш	山江村		章鹿倉保育園幼年消防クラブ	平成8年2月10日	18名
球磨	村	こがね保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月28日	3名	
五木	村	いつき保育園幼年消防クラブ	昭和63年7月28日	10名	
			計 23クラブ :	357名	

◆ 保育園防火クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数		
	泉田こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	21名		
	アヴニール・おこばこども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名		
	人吉こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	2名		
	こばと保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	18名		
1 ==	人吉乳児保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名		
人吉市	善隣保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	10名		
	林保育園防火クラブ	平成13年 4月 1日	10名		
	中原こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	4名		
	さざなみ保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名		
	あいだこども園防火クラブ	平成21年 4月 1日	18名		
錦町	福島保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	5名		
相良村	なつめ・あざみ合同園防火クラブ	平成12年 8月 1日	15名		
山江村	章鹿倉保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	17名		
	計 13クラブ : 164名				

◆ 少年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員 数	Į
人吉市	西瀬少年消防クラブ	平成28年 7月 3日	7	名
		計 1クラブ	: 7	名

全国統一防火標語

令和6年度 『守りたい 未来があるから 火の用心』

過去の全国統一防火標語

昭和41年度	火の始末 人に頼むな 任せるな	平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにしたその火
昭和42年度	さあねよう アッの前に 火の点検	平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
昭和43年度	あなたは 火事の恐ろしさを 知らない	平成13年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
昭和44年度	今捨てたタバコの温度が700度	平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
昭和45年度	防火三百六十五日	平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
昭和46年度	いま、燃えようとしている火がある	平成16年度	火は消した?いつも心に きいてみて
昭和47年度	慣れた火に 新たな注意	平成17年度	あなたです 火のあるくらしの 見張り役
昭和48年度	隣にも 声かけあって	平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
昭和49年度	生活の 一部にしよう 火の点検	平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
昭和50年度	幸せを 明日につなぐ 火の始末	平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
昭和51年度	火災は人災 防ぐはあなた!	平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっこ
昭和52年度	使う火を 消すまで離すな 目と心	平成22年度	「消したかな」あなたを守る 合言葉
昭和53年度	それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心	平成23年度	消したはず 決めつけないで もう一度
昭和54年度	これくらいと 思う油断を 火が狙う	平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
昭和55年度	あなたです!火事を出すのも 防ぐのも	平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
昭和56年度	毎日が 防火デーです ぼくの家	平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心	平成27年度	無防備は 心に火災が かくれんぼ
昭和58年度	点検は 防火のはじまり しめくくり	平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
昭和59年度	"あとで" より "いま" が大切火の始末	平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
昭和60年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」	平成30年度	忘れてない?サイフにスマホに 火の用心
昭和61年度	防火の大役あなたが主役	令和 元年度	ひとりずつ いいね!で確認 火の用心
昭和62年度	消えたかな!気になるあの火 もう一度	令和 2年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末!	令和 3年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末	令和 4年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心
平成 2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心	令和 5年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来
平成 3年度	毎日が 火の元警報 発令中		
平成 4年度	点検を 重ねて築く "火災ゼロ"		
平成 5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事		
平成 6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心		
平成 7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心		
平成 8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ		
平成 9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火		
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火		



編集発行 人吉下球磨消防組合 通信情報課

〒868-0083 熊本県人吉市下林町1番地

TEL: (0966) 22-5241 FAX: (0966) 22-5240 MAIL: shirei@fire119-hitosho.com

ホームページ:http://www.fire119-hitosho.com/